

バストス週報

第1384号
昭和四十八年
十月二十九日
月曜日発行
Director
Koiti Mori
Redator
Shion Uda
Rua. Pres.
Vargas, 16
C. Post; 112
Fone, 40
BASTOS
C. P.
Annual
Cr. #
35.00
Ano que vem
Avant.

水紋 44

中東戦解決の秘策

ソ連がシリアやエジプトに兵器を給与していることを探知したアメリカは、それなら、おれもイスラエルに武器を送ろうという。一日でも早く早く中東戦を停止させたいなどと言いつつ、双方支援者兼尻をたたいて、けしかけろやうなことをすれば、互に負けられぬ喧嘩だから、交戦当事国は死に物狂いで戦うだろう。支援国で双方とも兵器給与をしなければ、飛行機や戦車の激減した方が窮地に追い込まれ、降伏のやむなきに列国であらうが、「飛行機が受るのか、ああよしよし、戦車が不足かああよしよし、ソ連、北米、この調子で兵器を支給しつづければ、停戦の目途は、いつつくやう、長期戦となること疑いなしである。国連が早急に動き出すかと思つたら、安保理事会を再度開いたが、まとまらなかつたらしい。

その上、米ソが乗気になり、真剣に停戦に向つて乗り出さねば由々しき大争に列すること必至である。米ソが冷静な気持ちで兵器を支給し得る間はよいが、いつまでも冷静では居られず、必ず途中から感情的になつてくるし、新兵器などで操縦を教える教官など乗り込んでくるだろうし、そうなるに、敵対感情も起つてくるだろう。附近の諸国も戦争に巻き込まれないとも限らず、戦火は拡大するだろう。すでに新聞では「大戦誘発」の危険を憂いているほどだ。

ソ連が怒っているのは、イスラエルが占領地を握つて放さないことだ。あれを放棄するまでは、あくまでアラブ諸国を援助する、と公言している。これに対して米國は、世界平和のためには出兵も辞さない。かつて中東の國の独立や、不法な排除去のため兵力を介入させたが、今後だとしてあり得ることだ。と、強いことをいつている。これじゃ、米ソを加えた大戦にならぬとは断言出来まい。それほど戦争がしたかつたら、文句をたわす、あつさり一戦に及んだらよかろう。双方とも電氣スイッチを切つて、口

HOTEL PRIMAVERA



プレシテンテヴァルガス街二七一番地
プリマヴェーラ
食堂 森川悠一
電話 九十二番

御宿泊と御食事に
御宴会と御会食に
御給礼披露宴の御仕出しに
バストス名物料理
毎木曜日のフェジョアータ
当店自慢の日伯料理ノ

毎度ありがとうございます

ケット弾を打ち出し、水素爆弾の投げつけをいをして、世界の隅々まで害毒を流したらしいであろう。しかし双方とも大戦を引き起す程無意味でもなからうから、吾々が案ずる必要もないことだが、こんどの中東戦を早急に停止せしめる秘策をも彼等は知つていゝる筈だ。軍事評論家でもない吾々が、中東戦を分析して見る道もなく、イスラエル、エジプト間の国家感情の対立から出発して、いゝことは勿論だが、六日戦争に時を占めたイスラエルの、アラブ何するものぞといつた高姿勢で占領地の返還に怠じないのが今回の第四次段取り込みの原因となつたのだ。イスラエルとしては、占領地を握えておいて、媾和條約を有利に導こうという肚だろうが、相手側から見れば、取つて返ささない不都合な奴、ということになり、だから今回は、一足後れてヨルダンもイスラエルの敵側になり、いずれも、イスラエルに領土を占領されている連中だ。ソ連の云う如く、占領地を返さぬ限り、再三再四戦争をぶっかけてくるだろう

う。六日戦争では、イスラエルは綺麗な勝ち方をしているの、世界中から拍手を浴び、男を挙げているので、もう領土的野心のないことを示して、きれいなさっぱり返すことこそ、選民といわれる所以ではなからうか。

ましてや、イスラエルががんばることによって、大戦へでもなるようなことがあれば、世界中に迷惑を及ぼすことになるのではあるまいか。

この秘案をイスラエルに勧告するのは米国の役目であろう。何とならば、米国の云うことなら、イスラエルは肯定するだらうし、きかなかつたら、将来共支持はせぬと、大釘が打てる国だからである。

イスラエルの頑張れるのは、六日戦争後二三年の間だけであつて、兵器を第三国に依頼せねばならぬ状態では、ひとり自分だけ強国であると、のさばるわけにいくまい。

論より証拠、エジプト、シリア、その他アラブ諸国だとして、ソ連製の兵器で武装しているの、昔日のアラブではないのだ。相手をペシマンコに叩きつけるような、一方的な勝利を克ちとることではさぬ世の中になつて来ているのである。もし、イスラエルが占領地をあくまで返還せぬ限りソ連を敵に廻しても亡国を覚悟の上とあらば、又をかを去わんやである。

新聞の伝える処によると、米は第六艦隊をイスラエル近海に接し、空母及び海兵二千を待機させており、ソ連も大艦隊でデモストラソンをやっている。ソ連が百六十数回に亘つて戦機、戦車を空輸すれば、米は同じく大型輸送機に戦機、爆撃機三十六、戦車一六〇、其の他計五百種の兵器を空輸したと数量を発表している。

両大国が、これでは危険は迫るばかりである。近く米の提唱で、米ソ英仏西独日六大国の中東停戦会議を開く由だが、その会議で、占領地返却をイスラエルに勧告し、その代り、アラブの侵反保証をとってやるように話をつけるべきである。

パレスチナゲリラなどが各国の平和を亂すのもイスラエルへの報復の一環だとすれば、イスラエルは世界中の鼻つまみに打てるであらう。

中東戦勃発以来僅々十日で死傷(シ)六千・(イ)二千(エ)八千・喪失飛行機(シ)八五・(イ)七五(エ)八〇破壊戦車(シ)六五・(イ)六〇(エ)二〇〇というから、いかに戦戦をつづけたかが判る。……もうこの辺で止めめと戦後立上げなくならぬぞ。

糸音

Organizaçao Rio Branco s/c ADVOCACIA CONTABILIDADE E DESPACHOS

法律御相談

仕用人の

雇庸契約を

確実にしておくこと

後日問題が起きないように

契約書が大切です。

労働法民事刑事法

会計事務一切

農家でも帳簿を確実に

一切当事務所へ御相談下さい

プレジデント ヴアルガス街一八九

Dr. 石川雅宏

Dr. 小林平行

郵函 一〇三番

電話 一〇五番

一八〇番

相次ぐテザストレ

十月二十日土曜日夕刻イアクリ街道を走って来たイアクリ新谷氏のクルマがバーストス入るカーブのあたりで車輪に故障を起してジグザク走行となりあれよあれよと見るまに横転大破してしまふ。同乗の六人が軽傷を負つた。カザメントでアルツラに向う途中の出来事であつた。同日午後九時頃ミアソンの女子工員一八〇名程五名のオニブスに分乗、サントス海岸へピクニックして日曜日のヴァカンスを楽んだ帰途パウルの少し先、レソノイイスパワリス夕付道で先頭車が駅前に向う飛鶴車と衝突する事故が起つた。運転手は重傷、工員四五名重傷、乗員はあとの車におり詰め帰途についたが、このさわさのため予定の時間に帰着てしまふ。月曜の仕事も時間変更となつた由、一かし大怪我でなくて何よりだった。

ワカンス旅行もけつこうだが二日づつサントス清遊となる。強行軍となり運転手も疲れてついフラフラとする。デカストレはここにもあるが自分の身になつて考へると、一寸さむ気がする。

信利が、年寄りばかり増える話に、敏が、ぶいと立ってテレビを点けた。昭子は信利に目顔でもうその話はやめろようにというサインを送った。

「夜は何にしましよねえ」
「明日からは昭子も勤に出るから、手輕なものでも計画された食事が続くようになる。その前夜に、家族の好みを聞いて料理をしたかと思つたのだが、信利は腹が空いていないといひ、敏は、

「僕、ラーメン」
と答えて出子をかかりさせた。茂造が門谷のお婆さんと連立つて帰つてきた。昭子と信利がこもこも礼を言つと、お婆さんは喉を鳴らすように笑ひ、

「いいえ、よろしいんです。明日もまた一緒に帰つて帰つて行つた。」
「お帰りなさい、お爺ちゃん」
「ああ、昭子さん」

茂造は家の上つてくると、しばらく信利の顔を不思議そうに眺めていた。信利は、やれやれという表情で昭子を見る。昭子は吹き出したくなるのを押えて、茂造に話しかけた。

「お爺ちゃん、新年会はどうでしたか」
「はいはい」
「賑やかで楽しかったんでしよう」
「はいはい」
「おせんべいやお饅頭が出たんですって」
のぞきこむようにして訊くと、それまで宙を見ていた茂造が、

「ああ、昭子さん、腹が空いているのですがね。何か食べさせて下さい」
と、切実な声を出した。

「晩御飯は何にしましよるか。好きなものが食べたい？」
茂造の唇が急にすばまり、彼は真剣に考え出したようだった。食事の好みを訊かれて、やっと人間らしいコミュニケーションを交すきっかけを掴んだのだらうか。昭子と信利は顔を見合せた。敏もテレビの方からこちらへ首を捻じ曲げて茂造の様子を見ていろ。

テレビのロック、ミュージックが部屋中にひろがり、それが却つて静謐という効果を生んでいた。息子と嫁と孫と三人が見守る中で、茂造は随分長い間、唇をすばめ、食事の趣向という一点に思考を凝縮しようとしているように見えた。こんなふうに考えこんで、いつたい何を食べて空怖しくなった。とんでもないものを

言ひ出されても、こうなつては退くに退けない。それはほど親切心もない癖に、猫撫で声を出して何を食べたいかと訊いた。自分の偽善的な態度を後悔していた。

「やがて茂造は顔を上げる、昭子さん」
「婆さんが死にましよね、昭子さん」
「と、いつたから、三人とも虚を衝かれた。」
「さうですか、いつですか」
「い、いつて、あなた、そんなこと言つてもい、血を吐いて死にました」
「お婆ちゃん、馬に蹴られて、血を吐いて死んだんですか」

「はい」
昭子は呆然として夫を見た。何の話をしているのだらう。信利も首を捻つてい、敏が立上つて、仏壇の中から祖母の写真を取り出して茂造に突きつけて見せた。

「このお婆ちゃんのことかい？」
茂造は敏と写真をゆつくり見較べて、
「誰ですか、この人は」
「これが誰だか分らないのかい。お婆ちゃんだよ。こないだ死んだお婆ちゃんだよ。馬に蹴られてた、血を吐いてなかつたよ」

「馬って、どこの馬ですか」
「お爺ちゃん、今言つたじゃないか。馬に蹴られて、お婆ちゃんが血を吐いて死

INAUGURAÇÃO A COMEMORAÇÃO DE SR. SHIMOIDE

霜出静二翁の

おしらせ

皆さんの御協力によつて

慰霊碑が出来ました

墓地正門のすぐ

右側のとつつきです

来る十一月二日午前十時

除幕式を致します

墓碑建設委員会

AD-MIX SUPER

アーデーミックス スーペル

中ビナ、大ビナの移動の時に

スルファ剤で治療する時に

夏バテのない様に



VITASA



T. USHIAMA

んだんだって、それが、このお婆ちゃん
じやないのなら、どこのお婆ちゃんの話
なんだよ」

茂造は当惑したように敏を見ていたが、
やがて昭子の方へ哀願するように言った。
「敏が愛なことを言うので困りますよ。
昭子さん。こんな写真、私は知りませ
よ」昭子は諦うめて台所に立った。節
季料理を片付けてしまわなければい
い。昆布巻をどうも買いますぎてしま
きんとんも余っている。蒲鉾も残った。
温かい御飯に熱い味噌汁だけ作ればい
だろう。残りものを全部、炬燵の上に並
べて、四人で揃って箸をとると、

「ああ、あの話だ。うん、思い出した
と急に信利が言い出した。
「四十年前ぐらい前の話だよ。いや、四十
五年前の話だ。僕がまだ小学校へ上っ
ていなかっただと思つた。同じ村の中
で婆さんが馬に蹴られて死んだことがあ
った。僕は死んだ婆さんを見なかつた
けど、人殺し馬だというんで、出かけて
見に行つた。殺されたのは馬を飼って
いる家のお婆さんだ。たのかわどうか、
覚えてないけど、うん、確かにそうい
うことがあつた。村中大騒ぎになつた
んだ。そんな前のことを、どうして思い
出したんでしようね。馬に蹴られた現
場に行

「何から連想したのかな」
「好きな食べ物を知っていたら、考え
こんだ」
「息子と嫁と孫との三人が注目して
いる中で、茂造は茶碗を胸に付くほど
抱きこんで、ゆっくりと咀嚼して
いた。昆布巻を血にとってやると、箸
の先きで器用に

「お袋のことは、どうも忘れてしま
うたね」
「好きな食べ物を知っていたら、考え
こんだ」
「息子と嫁と孫との三人が注目して
いる中で、茂造は茶碗を胸に付くほど
抱きこんで、ゆっくりと咀嚼して
いた。昆布巻を血にとってやると、箸
の先きで器用に
巻を血の中へ入れろと、また熱心にかん
びようを外し、昆巻を聞いて、中に詰め
た小魚を食べる。また一つ。茂造は箸
の先きだけで、緩慢ではあつたが器用
に巻をほどくのであつた。また一つ。敏
は次々に昆布巻を茂造の皿にのせ、とう
とう皿の上に昆布が山のようになり、
重詰の中の昆布巻は終つてしまつた。
昆巻も食べられるんですよと、昭子は
一度注意をしたが、茂造の身には入らな
かつた。もったいないことをすると思
つたけれど、持て余していた残りもの
だし、その分の時間だけ茂造が食べ
ます。すむと思つたのを敏のするま
まにしておい

「六十年近く連れだって、男？て妻のこ
と忘れろものなんですか」
「おいおい、忘れたのは親爺の方なんだ
ぜ。僕を眺むのは筋違いだ」
「薄情なものだと思わうわ。夫婦の絆って
何だつたのか知ら」
「君だけは覚えておるのになあ」
信利が思いがけず、もちろん彼も意識
せずじだが、斬り返して来たので、昭子
は慌てた。信利の口から京子のよ様な感
想は聞かされたくなかつた。昭子は大意
ぎで、先刻敏がこういってたと夫に告げて
話を外うさうとした。
「動物本能か」
「いいえ、敏は生物本能と言ったんです
よ。ねえ敏、そうだったわね」
同じことかも知れないのに、茂造が生
物本能から昭子を覚えていると言われた
方が、動物本能といわれるよりずつと良
かった。いや、動物本能などと言われた
のは、身震いがする。
その夜も、夜半に眼をさまし、庭で昭
子に支えられながら用を足した。生物本
能か、動物本能かと、昭子は睡気の去り
やらぬ頭の中で考え、用が終つて部屋に
戻ると、もう男の隣りに寝るのは自分が
惨めでやり切れないので、枕と毛布を犯
いて二階に上がり、夫婦の寝室で朝まで

寝ることにした。目加算めたときすぐに
男を思ふのが嫌やだったのである。
信利は布団をかぶって深々と眠ってい
た。自分の親だというのに、世話はみん
な妻に押しつけてしまふかと思つて昭子は腹
が立つた。男というものは家庭内の煩ら
わしいことは避けて通ろうとする傾向が
あるのではないだろうか。毎晩毎晩、茂
造の夜尿につきあつて居るのは昭子で、
あの水音を信利は一度も聞いたことはな
い。姉が死んだときだって面倒なことば
全部、私がやつたのだ。信利はぼかんと
して、坐つていただけだ。老いた父親を
夜中の夜中に抱えて庭へ出る妻に、この
人は一度でも清まないと思つたことがあ
るだろうか。この男も私が先きに死んだ
ら、私を忘れてしまふのだ。俄かに怒り
が抑えきれなくなつて、昭子は持つてい
た枕を寝ている夫に叩きつけた。信利は
驚いて眼を開け、
「どうしたんだ」と訊いた。
「どうもしませんよ」
と昭子が答えると、ううと唸つて仲む
をしながら寝返えりをうち、そのまます
うつと再び静かな眠りに入つていった。
点け、放しのうす暗い電灯を受けて耳の
上の髪が千切り千切りと銀に光っている。
(以下次号)
著者 有吉佐和子

おしらせ

スバルガス

SUPER-GAS Loja Pelucy

営業場所がかわりました。
フロリアーノ・マレシヤール街四八七
(警察の下)
フォゴン・ランペオンガス
中古フォゴンを新品と交換
フォゴンの修理、その他、
格安に御用命に応じ、御便宜に
取り計らいます故何卒御引立を
願ひ上げます。



フロリアーノ・マレシヤール街四八七(警察の下)

梶田誠

電話 四五八

求人

養鶏場で働く家族

家族の多いほどよい
左記へお出で下さい
イヌビア

藤田農場
C.P. No 27

FABRICA DE GRANITO

Av. Rio Branco 7a C. Post. 23, Fone 515
ADAMANTINA C.P.

日本式及ブラジル式
墓 碑 記念 碑
胸 像 石 燈 籠
石 白 もち 白
石材美術彫刻類一切製作
古い墓の修善もいたします
アダマンチーナ市リオブランコ大通り
大西石碑工場
大西文吉
郵函二十三番
電話五一五番

或る移民の生涯

第三幕目の中頃

許婚者エリザベツテを伴って帰って来た次男の姿に山野一家は一瞬呆然。次男マリオは気取ったポーズを歩み出て、

「オー、にいさん、コモモバイ」

と手を差し出す。一郎、一寸はにかんだ様子で無言で握手。マリオは、

「ママイ、コモモバイ、フォルテ？、アブレシント、ミーニマ、ノイバ、エリザベツテ」

春子は無言でこっくりうなづくだけ、その場の空気がチグハグとなる。一郎は

「マリオ、遅かったではないか。まあ早く家の中へ入れよ。パイもさっきから待ちかねているよ」

春子が、

「ほんとにマリオよく来たね。立派になっちゃって、さあ、そんな処に立ってないで」

一同家の中に入る。エリザベツテは、

「きよろきよろと室内を見廻わし、しきりに煙を追い払うそぶりなどする。」

「コモモバイ、パイ」

この場面より伴奏は「ジプシーの月のヴァイオリンの独奏を低く。春子が、

「お嬢さん。よくおいでになりました。本当に汚い処で、びっくりされました。しよう。サンパウロではマリオがいろいろとお世話になったことでしょう」

エリザベツテ「……」

春は、

「田舎はほんとにハエが多くて困りますよ。近くに鶏舎やマンゲイロンがあるものですから」

マリオは、しきりにエリザベツテを気づかう素振りで見つめ、山野、メーザの正面に腰をかけて無言で苦々しい顔で煙草をふかしていたが、固い表情のまま唐突に、

「マリオ、その女の人は誰かね」

「オー、パイ、エーラ、エー、ミーニマ、ノイバ、エリザベツテ」

「なんだね、マリオ、お前、その人をノイバと紹介したが、なんかね、それは婚約者ってことかね？」

一郎が、

「パイ、そんな風にいわなくても、いやく、いやくも親としてだね、いくら遠くにしようとも、息子の一生の伴侶を決めるのに、親に一言の相談もなく、勝手に決めるとは何事だと言っているんだ」

一郎が、

「パイの言う事もわかるけど、問題は本人同意ね。カーザする二人がうまく行けば、それをいいんじゃないですか。今」

整セイ体術タイとは

読んで字の如く、体を整える方法です

頭のこっぺんから、足の爪さきまで血の巡還をよくする術であります。

○頭痛・リヨマチ・神経痛・不眠症

足、腰のいたみ・ゼンソク・肩のこり等、血の巡還からくる病気の一切が全快します。お試し下さい。

昼夜アテンデしております。

ルア・マレシール・フロリアノ 二四九番

電話 三六六番

榎はやの

新治療室ができました。

頃の町の人は、段々そんなになつて来てるんではないのかな。なあ、マリオ

「うん」

「いや、物事には順序というものがあろう。それだ。若いモツサを、いくら婚約したからって、一体どんな親だ。レ、かりした家庭の娘なら、そんな事はない筈だ」

マリオ「イツソ、エー、メンタリダーテ、アトラザード、パイ」

「マリオ、俺の頭が古いと言うのか。だが考えてみい。お前が学校を出たからって、そんな偉そうなお口をさくが、一体誰か、誰のおかげでそんなになつたと思ふんだ、うん、家中で真黒になつて一生懸命働いて、学費を続けたからじゃないか。みんなお前の犠牲になつてゐるんだぞ」

「イツソ、エー、オウトロ、アスント」

「マリオ、パイはね、お前が医科大学を卒業して来るつてんで、それがパイの一生の夢だったのよ。子供をメージコにしたいていうのが。だから折角パイも喜んでゐるんだから、今のこと一応あやまらうらどうなの……」

「オ、マ、エウ悪いことしてないもん、どうしてアヤマル？」

「自分がちよつとばかりし教育があると思は、親のわしを田舎者の無学な奴と思は、それをいいんじゃないですか。今」

森重法律会計事務所

おしらせ

税金を納めないと、
ムルタ ミーニ、〇〇がつかます。
警察に見つかつた場合は倍額になり
ますから、御注意までに。

森重法律会計事務所

老人クラブについて

バストスでは古くから、日本人会、自治会、文化協会等名称は変つたが、七十歳以上の老人を敬老会に招待し、近年は市役所が文協に代つて入植祭中に敬老会を催している。
市主催といつても費用を祭典費に組み入れるだけで、茶菓の接待をしたり、会場を設けたりする世話は、文協の役員がしてくれている。
だが、これは七十歳以上の男女老人が市から招待され、茶菓をよべられたり、記念品をもらつたり、時によると日本舞踊を見せてもらつたりする程度で、老人はあくまでお客様であるし、将来も次々と毎年新しく七十歳になつた人が入つてくるから、市主催の敬老会は将来長く続けられるであろう。

ESCRITORIO MORISHIGUE AVISO

下記の方々の外国人登録が出来ましたから、取りにおいでください

Os abaixo relacionados poderão retirar suas CARTEIRAS DE IDENTIDADES PARA ESTRANGEIROS no nosso escritório:

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 10) KYOJI KUBO | 1) AKIKO TSUTSUI |
| 11) MITSUKO BABA | 2) CHIE KURITA |
| 12) MURAE NISHI | 3) EIKO NAKAURA |
| 13) NOBUAKI HONDA | 4) FUKUMU WATANABE |
| 14) SACHIYO KUBO | 5) HAYASHI KINOSHITA |
| 15) SUMIKO IWAHASHI | 6) HISAKO YOSHIDA |
| 16) SUZUE HOTTA | 7) ISAO HINOUE |
| 17) TADAYOSHI NISHI | 8) JUNTARO YASNAGA |
| 18) TURUE YAMASHIBA | 9) KAZUICHI YAMASHIBA |
| 19) YOSHIO SUGUIMOTO | |

帰化手続き

新しい組が出来ましたからお早く申込んで下さい。手続きはかんたんです。

自動車の税金を早く

自動車の番号の終りのヌーメロが〇になつてゐる人は、本月(十月)一ぱいに

この時加藤老は、老人クラブの役員を設けることを提唱したので、左の方々が指名され、それを承認された。
会長 吉浦秀次郎 委員 池田信三郎
顧問 柳原美一 山根三郎
〃 吉田与三吉 〃 吉田多作
〃 池田与太郎 〃 池田佑次郎
〃 西本清人
〃 京野高次郎
バストス老人クラブでは敬老会としてまとまつていたので、こうして役員を設ければ、直ちに発足するわけだが、七十歳以上の役員で、次第に心細くなるので六十歳から希望者には、どしどし入会し

バストス郡図書館経営にあたり自発的に寄附者のシラソンが出来ましたので幸便を以って御知らせいたします。

(十月二十三日迄の方)
パラプア編集者 KASYL

PARAPUÁ, 23 de Outubro de 1.973,
SENHOR PREFEITO:-

Na Oportunidade passamos às mãos de V.Sa. a relação dos contribuintes esportaneos na campanha da Biblioteca Pública Municipal de BASTOS.

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 001- Tengio Yoshikawa | 002- Akio Watanabe |
| 003- Kingo Yajima | 004- Tsuneharu Nakanishi |
| 006- Haruo Gohara | 007- Etsuo Yonekawa |
| 008- Eitshi Nagatomo | 009- Francisco Yoshitaka |
| 010- Kiyofumi Kuwabara | 011- Toyoki Mogami |
| 012- Yukio Yajima | 013- Junjichi Yamazaki |
| 014- Hirotsuke Ikedo | 015- Shigeo Motoki |
| 016- Tetsuro Matsumura | 017- Sho Motoki |
| 018- Tatsuyuki Kawakami | 019- Kintaro Sei |
| 020- Goiti Yamane | 021- Massaiti Yamane |
| 022- Kaiti Morozumi | 023- Matsumi Yamane |
| 024- José de Mattos Filho | 025- Usimatsu Ozawa |
| 026- Mitsuji Yamamoto | 027- Takeo Morimoto Filho |
| 028- Uchiro Umakakeba | 029- Saburo Yamanaoka |
| 030- Daihachiro Uemura | 031- Akira Ueyama |
| 032- Susumu Yorozuya | 033- Toshio Hirai |
| 034- Yoshitane Ono | 035- Yuchiro Endo |
| 036- Paulo Takeo Endo | 037- Hatiro Oikawa |
| 038- Hiromi Ono | 039- Masayuki Nishimi |
| 040- Minoru Koga | 041- Tatsuo Tani |
| 042- Haruo Kobayashi | 043- Yoshitar Morishita |
| 044- Mitsuo Saga | 045- Koharo Oguihara |
| 046- Ikuo Yamaguchi | 047- Shichiro Uchihaba |
| 048- Kameji Kawabo | 049- Chiguchi Okura |
| 050- Noboru Amano | 051- Sabroemon Kanno |
| 052- Kenji Tanaka | 053- Nobuhiro Omokawa |
| 054- Sumi Yamada | 055- Eiji Taniguchi |
| 056- Haruo Nide e Família | 057- Manjiro Kiyono |
| 058- Tadashi Tuboi | 059- Tsuyoshi Ogura |

NO TRANSCORRER DA CAMPANHA FORNECEREMOS SEMANALMENTE AS RELAÇÕES SUBSEQUENTES.

ATENCIOSAMENTE.

P/ EDITORA KASYL
LUIZ CARLOS

十一月の句会

十一月四日夜七時

場所 佐々木南天子居

兼題 ランバリ・上簇・ひなげし

十一月十八日夜七時

席題 句会 糸音居

でもうって、活潑に働ける人に委員なり
会計になってもいい、年一度の敬老会に
集るだけでなく、老人音頭でもいいこを
したり、歌謡コンクールをやったり、朝
戸先生に法話をきく会を催したりして、
楽しい老人クラブの雰囲気を作り上げよ
うではないかという申合せであり、又費
用がなくして中絶している物政者に贈る花
輪も復活したらよいと思うが、会計の手
元に二百コント弱の金があるそうだから
、これに寄附者の喜捨を募れば、花輪を
贈る位の用意はできるだろうとの事であ
る。

○ 人間は誰でも年をとって老人に出世
する。

○ 六〇歳になったら、クラブ員になっ
て、皆が可愛される老人になる仕度
をしましょう。

バストス老人クラブ

(怒る移民の生涯)のつづき
親とも思っていないんだろう
「お父さん、マリオの話もよう聞かん
と、初めからがみかみいわないで……。マ
リオ、アルモツサはまだだろう？。ね、
今朝から支度して待ってたんだよ」
「おブリガード、ママイ、ノース、ジャ
ーアルモツワード、ママイ、ナシダーテ」
「春子がはげしく落胆する。一郎が、
「マリオ、ママイはな、ゆうべから寝な
いでご馳走を作って、オッセの好きなの
を作って待っていたんだぞ……。ママ
イは、どんなにオッセに心をかけていた
か知っているか。六年間も毎日毎日、オ
ッセのことを心配していたんだ。オッセ
はどうしてウン、ミイトも早く家に帰っ
てパイ達を喜ばせてくれなかつたんだ。
ぞこまを来ていて、レストラントなん
かでアルモツソするなんて、馬鹿な奴だ」
「オッセルケ、エリザベツテ、ノン、エス
ター、アコスツマード、アンビエント、
デ、インテリオール」

(以下省略)

死亡通知並に会葬御礼

父、坂口房吉(九十歳)永らく病氣療養中の間、去る十月二十二日午後四時半眠るが如き大往生をとげました。依つて翌二十三日午三時P.L.教会に於いて告別式を営み、バストス墓地に埋葬いたしました。此の儀生前御交誼をいただきました厚知各位に謹告申上げ、併せて病中御丁寧なる御見舞をいただきましたこと、厚く御礼申上げます。尚、葬儀に際しましては酷暑のなか御多忙をも省りみず遠路の御態々御会葬くだされ、その上過分なる御香料並びに結構なる花輪等御恵供下され感激の外なく篤く御礼申上げます。実は一々御廻礼いたし、拜眉の上御礼申上ぐるべき筈の処、取込み中にて失礼乍ら略儀紙上にて取敢えず御礼の御挨拶申上げます。

一九三三年十月二十四日

クロリアアI区

喪主長男 坂口

妻 母 長男 次男 三男 長女 次女 親戚代表 友人代表 坂口 友 野 田

義 修 重 貞 春 好 秀 耕

どよ

一寿同子富代雄り雄子身たね一

- バストス南米本願寺様
- バストス仏教婦人会様
- バストス市役所様
- クオリアアI区様
- コチア産業組合バストス倉庫様
- P.L.バストス同心会様
- P.L.バストス婦人会様
- P.L.バストス壮年会様
- P.L.バストス青年会様
- バストスブラビスコ株式会社様
- バストス和歌山県人会様
- クロリアアI区婦人会様
- バストス連合仏教会様
- 会葬者各位様

アシステンションシリアル

よりのお願い

アキアデアイマ(第一グルッポ校)

畑中時子先生

ドートルイリネウアルメイダ(第二小学校)

メルセデトアルテヂット先生

私たちは学校衛生係を拝命して居りますが、眼の悪い児童が多いのでマリリアから眼科医を招きポストサウーデで検眼していただきました。廻三十七名の重患が発見され、内三十一名は近視乱視の眼鏡を必要とする者が居り、出来る限り親の力によりますが貧困者が多いため、よほどアシネダを必要としますので、私達が参上いたしましたら、何分の寄附を願いたいと存じます。

すでに左記の方から合計一、三〇〇ク
ルペーロ御寄附をいただき、これによつて検眼及び治療手当に使するこ
とが出来ました。

○ブラ拓製糸会社様 ○アバテドール
コチア様 ○ブラシダ様 ○ヌトリバス
トス様 ○松森留蔵様 ○パツリクラブ
様

○尚、メガネ代は、大体二千五百ク
ルペーロの予算ですが、(確定的では
ありません)

尚、POSEのプログラマについて
は詳しく記述する余白がありません
ので、次号でおしらせ致します。
どうか、右事情のため、何分の御寄
附を賜わりますよう、おねがい申上
げます。

各 位 様

LAVA JATO

SESQUICENTENARIO Fone; 371

PETROBRAS



短時間に洗滌と注油
給油が一瞬に達せら
れます。

ラヴァジャット

エンジン
トロッカ、オーレオ
ラッシュマー

超速自動車洗滌

ポストデガンリーナ

わずか三分間であなたの自動
車がピカピカになります

ドッキデカシマス街

ラヴァジャット

セスキサンテナリオ

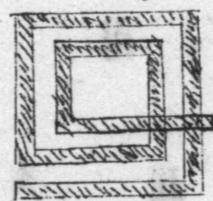
演舞場のとなり

電話 三七一番

MACVETTI LTDA

AGENTE EXCLUSIVO OLIVETTI

MAQUINAS DE ESCREVER SOMAR E CALCULAR
MANUAIS ELETRICAS E ELETTRONICAS
"OLIVETTI" ASSISTENCIA TECNICA ESPECIALIZADA
PERMANENTE



BASTOS - Rua 10 de Novembro 551, Fone 388 C.P. 9
TUPÃ - Rua Caetes Nº 679, Fone 2524

計算機 電気計算機 タイプライタ フィック各種
電気タイプライタ フォルミカ事務機 アルキーボ
コフレ (金庫) 等々

ATENDE BASTOS E REGIÃO

林 広 人

RELAÇÃO DE REGISTRO DE ESTRANGEIRO RECEBIDOS EM 22/10/73

ORGANIZAÇÃO RIO BRANCO S/C

石川法律事務所
 オルガニザシオン
 リオブランコ S/C
 電話一〇〇〇及び一八〇番
 プレシデンテバルガス街
 一八九番

お知らせ
 御依頼を受けて
 居りました外国人
 登録が出来ました
 かう下記の方々は
 受取りにおいでく
 ださい。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1- Ayako Uemura | 22- Miyako Umakakeba |
| 2- Chuzo Okuyama | 23- Nobuyo Kiyono |
| 3- Eisaku Iguchi | 24- Sakae Murata |
| 4- Fusae Yoshida | 25- Sanzo Fujibayashi |
| 5- Hatsumi Morita Suizu | 26- Shigeo Seike |
| 6- Hideo Nishigasako | 27- Shinpachi Horie |
| 7- Hiroshi Yoshida | 28- Shizue Kuroda Nuki |
| 8- Hisa Watanabe | 29- Chogo Takahashi |
| 9- Homie Hamamoto | 30- Shohei Okano |
| 10- Huji Nishigasak | 31- Sode Tanaka |
| 11- Isayo Cida Saito | 32- Takami Yugue |
| 12- Itumi Hashioka | 33- Takao Morimoto |
| 13- Kazumi Yorduya | 34- Toku Oikawa |
| 14- Kiyo Yamaguchi | 35- Tomoki Okiyama |
| 15- Kinayo Morimoto | 36- Toshio Ikeda |
| 16- Kiyoko Okoti | 37- Toshio Watanabe |
| 17- Makoto Kawazu | 38- Tsutae Furutani |
| 18- Mariko Kawazu | 39- Yoshi Kuramoto |
| 19- Masahiko Imahata | 40- Yoshikazu Sakaguti |
| 20- Matsuno Saeki | 41- Yoshiko Murakami |
| 21- Mitsuzo Nishijo | |

BASTOS, 25 de Outubro de 1.973

PREFEITURA MUNICIPAL DE BASTOS
 AVISO

SENHORES PROPRIETÁRIOS DE IMÓVEIS URBANO, esta Prefeitura dá início ao CADASTRAMENTO, de imóveis urbano - estando autorizado os serviços técnicos a uma firma especializada.

Esta Prefeitura solicita aos senhores proprietários a colaboração na ocasião em que forem em seu domicílio - Para fazer o cadastro imobiliário.

A equipe que fará os serviços está devidamente autorizada pela Prefeitura Municipal de BASTOS.

Certo da atenção e colaboração dos senhores Proprietários, antecipamos os nossos agradecimentos.

Alguerdo Paskakulis
 Lançador Municipal

市役所通知

シダレテに不動産を
 もっている皆さん

当プレフェイットーラは市街地の不動産の登録を始めます。技術のある持別なファイルマによってなされます。当プロフェイットーラは、所有者各位が住居を登録なさることに、此際御協力して下さる様要請いたします。バストス郡市役所が認可した一組が法規通りの仕事のために参上の節は、何卒よろしく。各位の御配慮に對し深甚の敬意を表します。

ランサドリア(納税係)
 アルゲルド
 ハスカクリス

